



山梨県IR資料

H27.10.19(月)

第14回市場公募地方債発行団体合同IR説明会

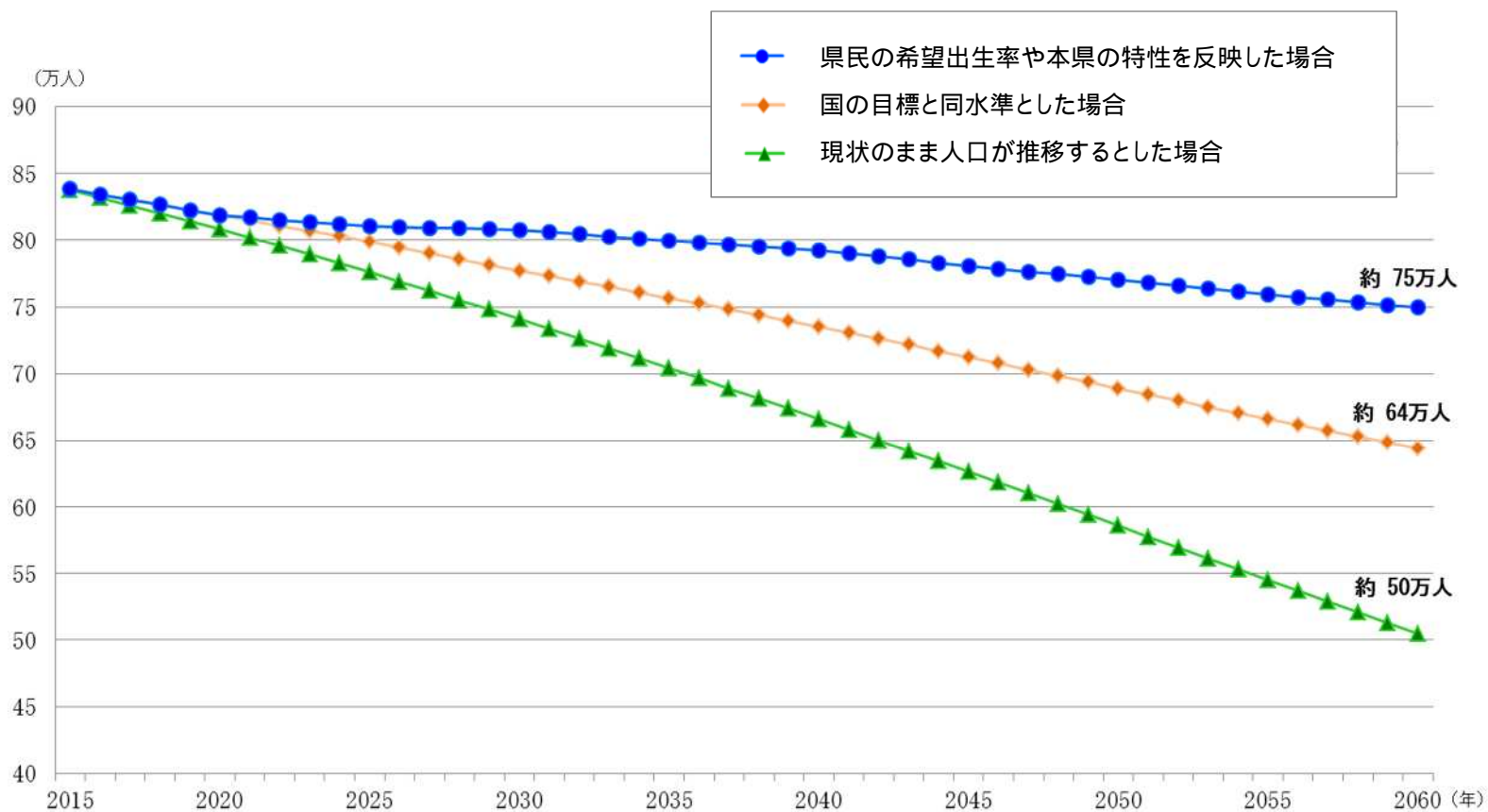
1 . 山梨の展望

山梨県まち・ひと・しごと創生人口ビジョン
リニア中央新幹線
中部横断自動車道の開通
世界文化遺産・富士山

2 . 山梨県の財政

山梨県まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

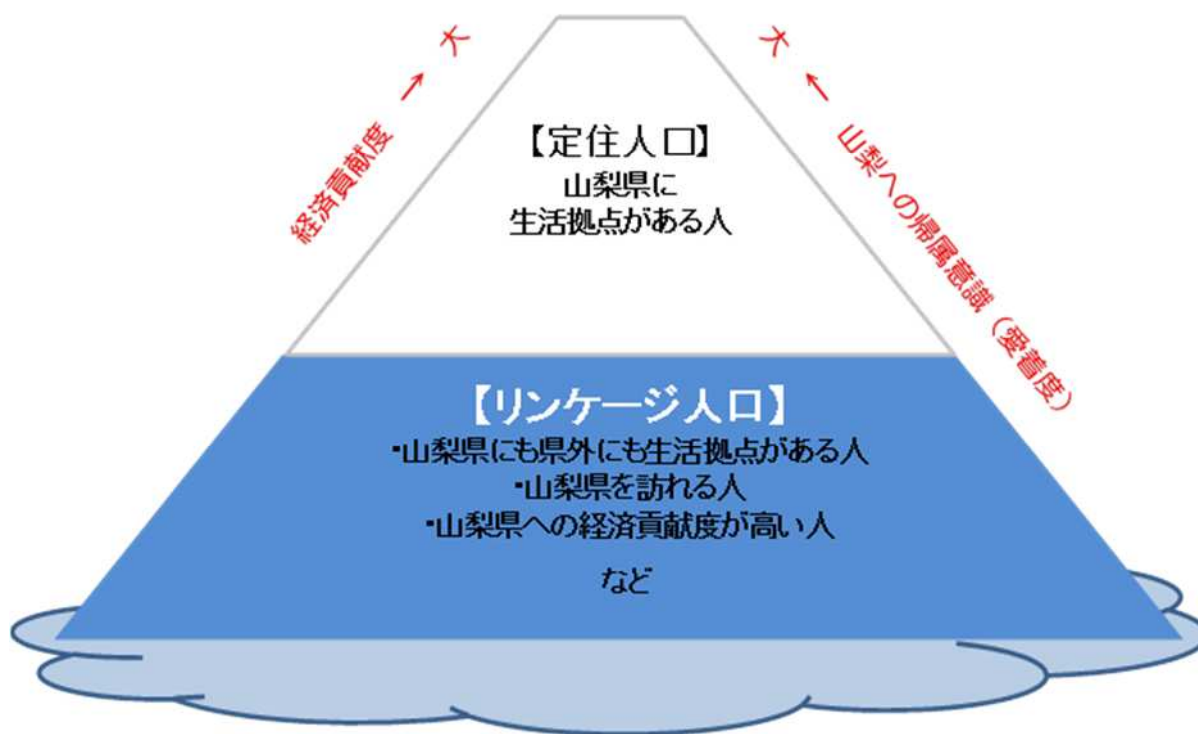
定住人口について、県民の希望出生率や本県の特徴を生かした施策を展開することにより、国の目標を上回る約75万人を目標として設定。



山梨県まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

交流人口に着目し、交流人口のうち経済貢献度や愛着度合の高い人口を「リンケージ人口」と定義し、このリンケージ人口に定住人口を加えたものを、「やまなし共生・連携人口」として、100万人を目指す。

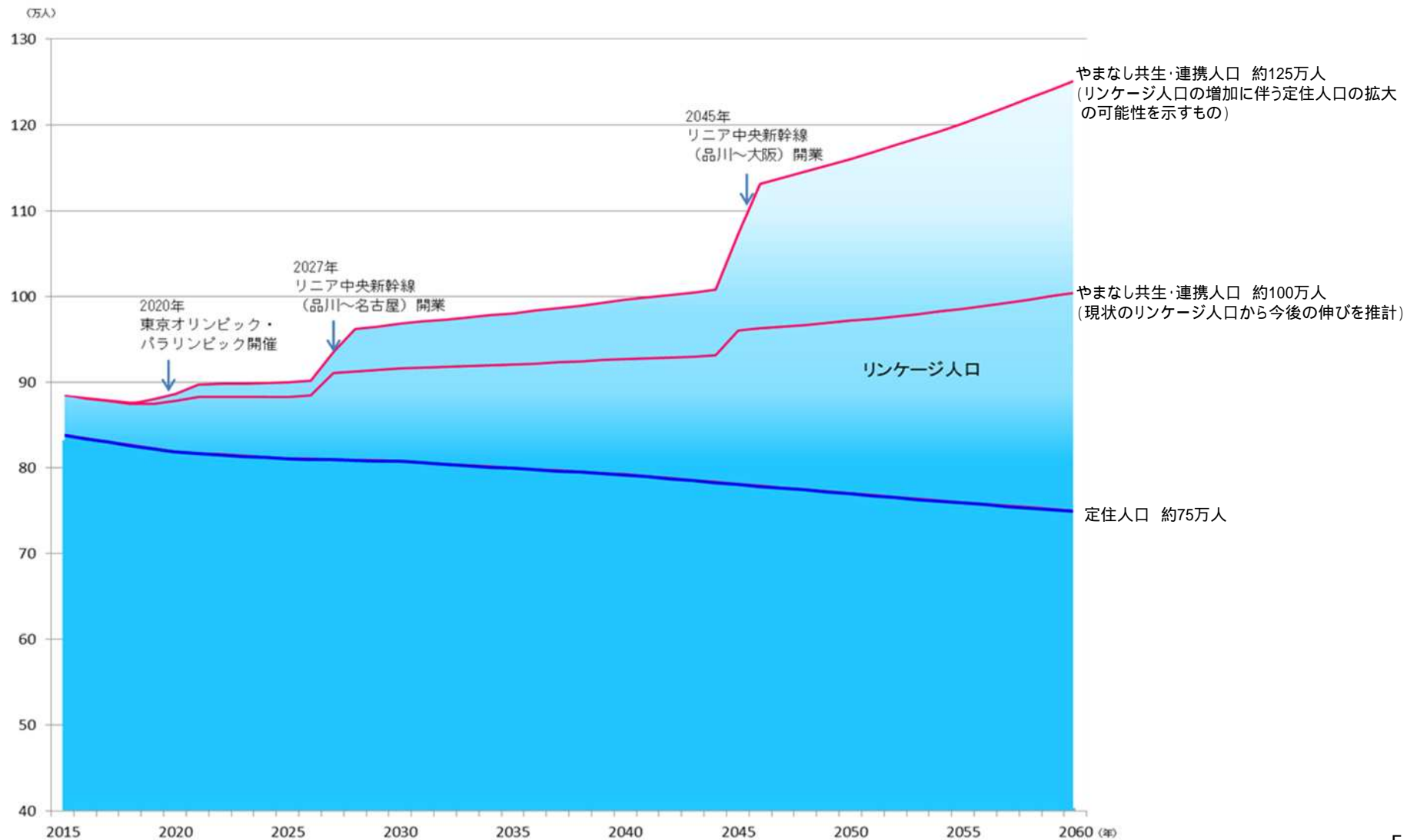
やまなし共生・連携人口



$$\text{やまなし共生・連携人口} = \text{定住人口} + \text{リンケージ人口}$$

山梨県まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

リンケージ人口の本県への経済貢献度や愛着度を強くすることにより、定住人口と同様の効果をもたらす、あるいは定住人口となることを目指し、持続的で魅力ある山梨を築いていく。



リニア中央新幹線



リニア中央新幹線

総延長 約438 km (10都府県)

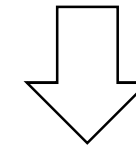
2027年開業 東京都～名古屋市間 約286 km (所要時間 40分)

2045年開業 東京都～大阪市間 約438 km (所要時間 67分)

リニア中央新幹線



公共交通のハブ的機能を有し、様々な都市機能が集積している甲府駅周辺とリニア新駅周辺を連携させ、相乗効果を発揮するように、両地域を結ぶ交通基盤を強化



BRTの整備やPTPSの導入などを検討

BRT: バス専用レーンや連節バス等の導入などにより、定時性・速達性の確保と利便性・快適性の向上を図るバスシステム

PTPS: 大量公共交通機関であるバス等の通行を円滑に行わせ、バス等の定時運行を確保するとともに利用を促進して、道路の利用効率を向上させる公共車両優先システム

リニア中央新幹線

予定地南側より撮影



リニア環境未来都市の創造

山梨らしさを発揮できる強み

アクセスの飛躍的向上

自然環境と調和した景観の形成

産業を支えるエネルギーの供給

リニア環境未来都市

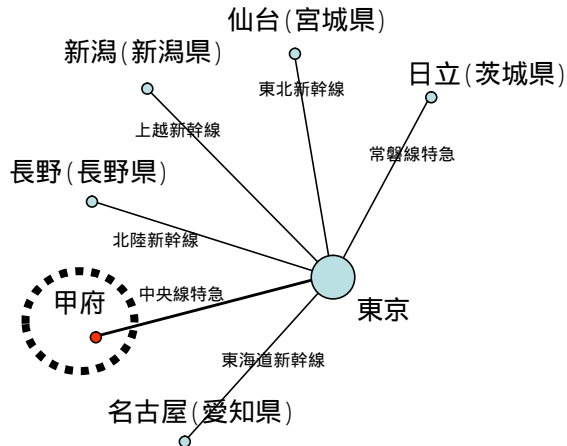
環境との共生

新たなライフスタイルの展開

リニア駅周辺の整備

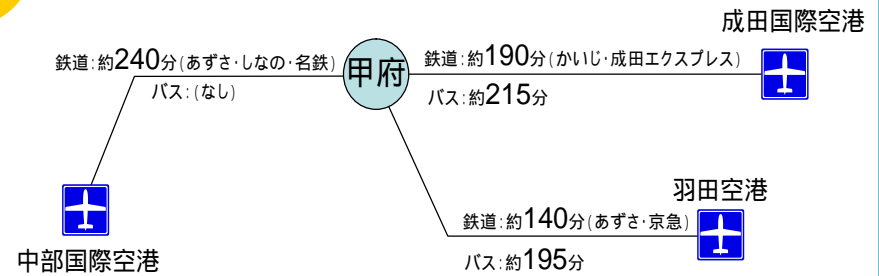
リニア中央新幹線

東京(現状90分圏)

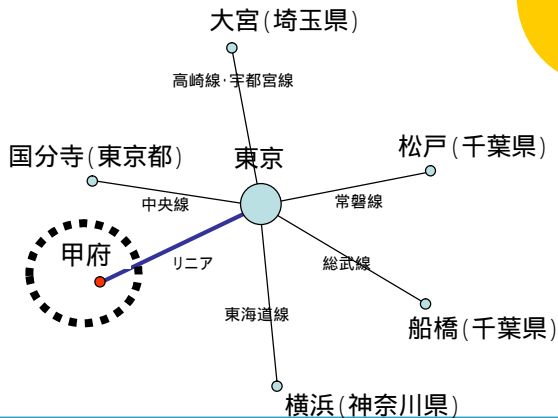


現状

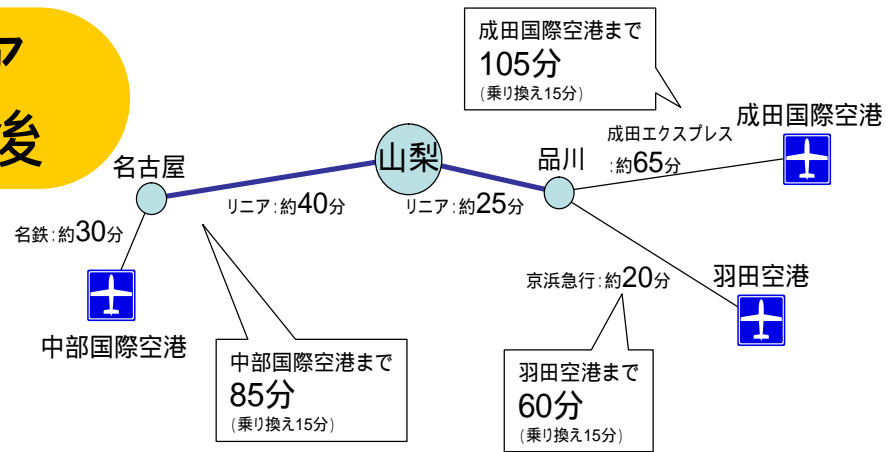
[拠点空港との所要時間変化]



東京(リニア25分圏)



リニア
開業後



各駅停車の場合

リニア中央新幹線

東京から25分圏にある都市の地価比較

都市	地価 (住宅地平均価格・円/m ² ・平成26年)
埼玉県さいたま市	176,100
千葉県船橋市	139,000
千葉県松戸市	132,700
東京都国分寺市	263,400
神奈川県横浜市	214,100
<u>山梨県甲府市</u>	<u>49,100</u>

リニア中央新幹線

- ・平成25年8月から新型車両L0系車両による走行試験を開始
- ・JR東海による体験乗車を平成26年11月から順次開催
- ・本年4月には時速603kmを記録し鉄道の世界最高速度を更新

車体側面ロゴ



平成25年6月3日(月) 都留市リニア実験センター付近 (山梨県撮影)

リニア中央新幹線



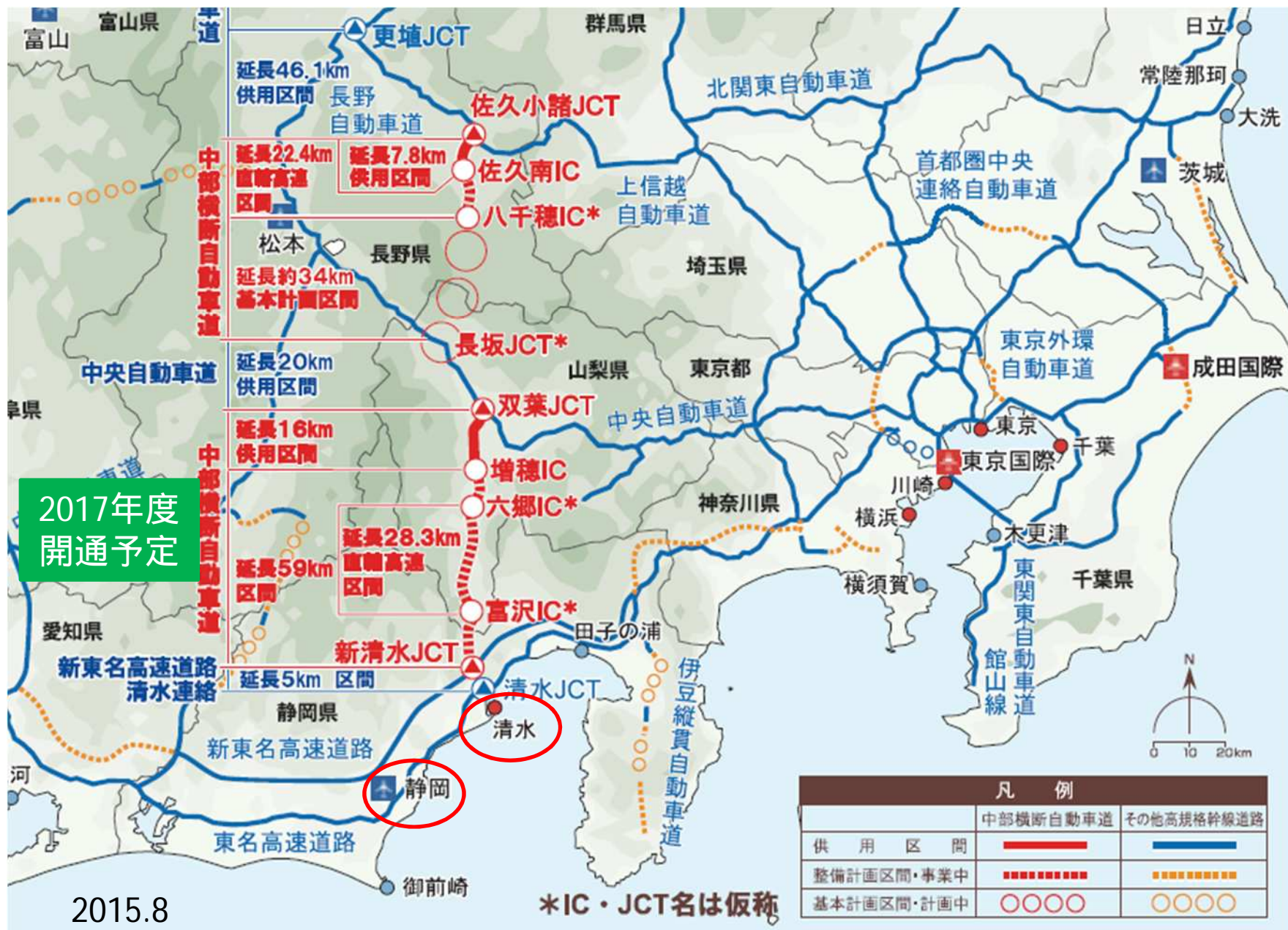
有人鉄道走行の平成15年当時の
世界最高速度（581km/h）
を記録した車両を展示

【リニア見学センター（都留市）】

平成26年4月24日に開館した
「どきどきリニア館」の入館者は
平成27年8月28日に40万人を
突破（想定の倍の入場者数）



中部横断自動車道の開通



中部横断自動車道の開通

清水港について

- ・国際拠点港湾

国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾として指定
(全国に18港)

- ・本県とのつながり

山梨県から清水港への船積港別貨物量は、東京港、横浜港に次いで全体の約10%(2013年)

- ・アクセス向上

中部横断自動車道の開通により、甲府市から清水港への所要時間は119分から95分へと大幅に短縮。地域産業活性化が期待される。

静岡空港について

- ・国内線は、札幌、福岡、鹿児島、沖縄

- ・国際線は、ソウルや台北、中国各地(上海外10都市)

- ・中部横断道を経て、東名吉田ICから約9km

世界文化遺産・富士山

平成25年6月、富士山が世界文化遺産に登録決定



いつまでも
富士山を
世界遺産に

平成26年 延べ宿泊者数
前年比 + 9.3% (全国6位)

うち外国人延べ宿泊者数
前年比 + 91.3% (全国1位)

富士山の世界遺産登録効果は着実に現れている。

国際的にグレードの高い
保養・観光地を目指す。

世界文化遺産・富士山

「山梨県立富士山世界遺産センター」を整備（平成28年6月開館予定）

富士山の顕著な普遍的価値に関する情報発信や、保存管理の中心的な役割を担う



1. 山梨の展望

「輝き あんしん プラチナ社会」の構築
リニア中央新幹線
中部横断自動車道の開通
世界文化遺産・富士山

2. 山梨県の財政

財政構造と特徴

普通会計決算の状況

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
歳入決算額 (億円)	5,000	4,854	5,111	4,917
県税	929	930	925	979
地方交付税	1,327	1,318	1,324	1,353
臨時財政対策債	377	347	354	302
県債 (臨時財政対策債除き)	380	430	445	382
その他	1,987	1,829	2,063	1,901
歳出決算額 (億円)	4,768	4,640	4,858	4,716
義務的経費	2,075	2,060	2,030	2,065
投資的経費	1,007	1,011	1,102	1,122
実質収支 (億円)	49	56	42	50
経常収支比率 (%)	92.5	93.8	93.4	93.4
投資的経費比率 (%)	21.1	21.8	22.7	23.8

財政の相对比较

	H25年度 決算値 ()は都道府県平均	順位	
		首都圏・ 近郊9団体	全国
実質県税 (億円)	954 (3,565)	7位 人口1人当たり 多い方から	25位
実質法人2税 (億円)	335 (1,169)	3位 人口1人当たり 多い方から	13位
経常収支比率 (%) (加重平均)	93.4 (93.0)	7位	26位
歳出に占める人件費 (%) (加重平均)	23.3 (26.7)	1位 少ない方から	8位
基金残高 (億円) (財政調整基金・減債基金計)	436 (513)	1位 人口1人当たり 多い方から	3位
地方債残高 (億円) (普通会計)	9,898 (19,092)	9位 人口1人当たり 少ない方から	42位
		9位 標準財政規模当たり 少ない方から	40位

首都圏・近郊団体(東京都除く): 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・神奈川県・長野県・静岡県の8団体に山梨県を含む9団体

財政構造と特徴

健全化判断比率等の状況

平成26年度決算に基づき算定した本県の比率は、**いずれも健全化の判断基準を下回る**状況
 実質赤字額、連結実質赤字額ともに前年度同様生じていない
 前年度決算比で、**実質公債費比率は0.3ポイント**、**将来負担比率は2.6ポイント改善**
 いずれの公営企業会計においても、**資金不足額は前年度同様生じていない**

(単位: %)

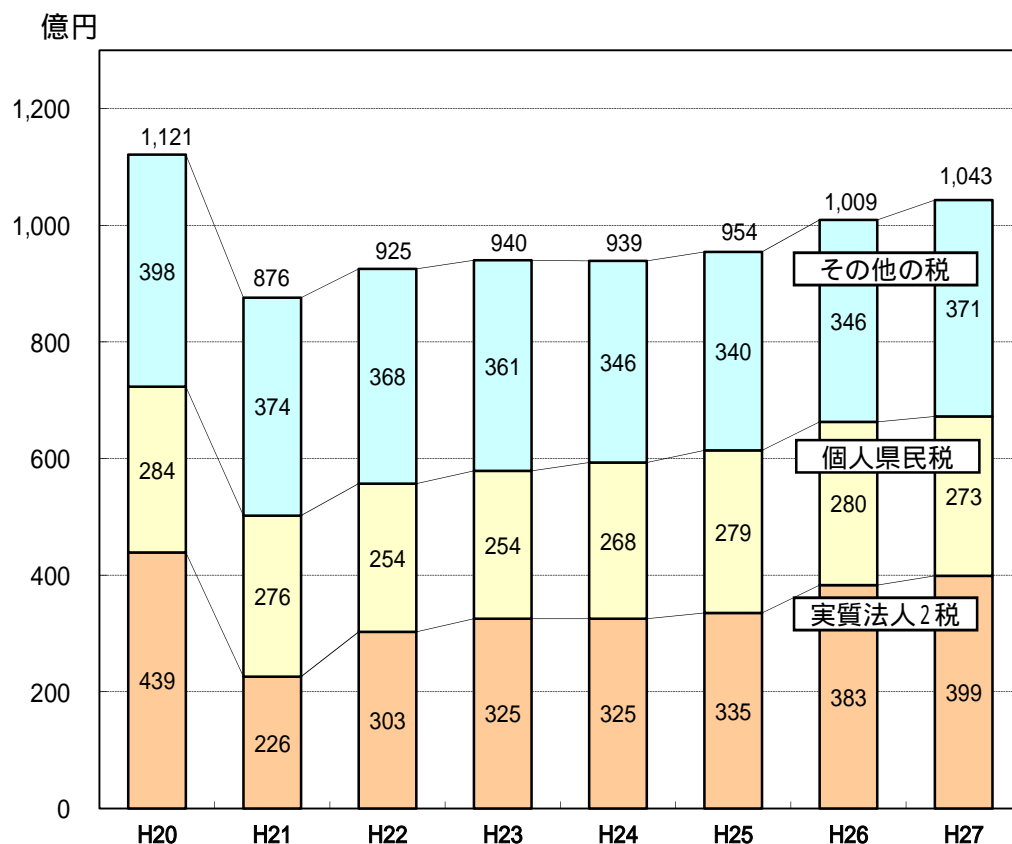
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
実質赤字比率	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-
実質公債費比率	16.8	16.6	16.5	16.2
都道府県平均 (加重平均)	13.9	13.7	13.5	13.1
全国順位	34位	35位	38位	41位
将来負担比率	223.6	216.7	215.8	213.2
都道府県平均 (加重平均)	217.5	210.5	200.7	187.0
全国順位	25位	27位	29位	32位

		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
資金不足比率	電気事業会計	-	-	-	-
	温泉事業会計	-	-	-	-
	地域振興事業会計	-	-	-	-
	流域下水道事業特別会計	-	-	-	-

実質赤字比率、連結実質赤字比率は、赤字額がないため「-」表示
 資金不足額がない会計については「-」表示

H26年度は総務省公表速報値

実質県税収入の推移



近年の状況

本県の税収は、法人二税の占める割合が高く、世界同時不況の影響を受けたH21年度には税収が大きく落ち込み、企業業績の回復などにより、H22年度に持ち直しの動きがみられ、ここ数年は増加傾向にある。また、消費税率の引き上げに伴い地方消費税収入が増加。

H27当初予算額 1,043億円

今後の見通し

輸出関連企業等を中心に引き続き企業収益が改善し、景気が持ち直していくことが期待される一方、海外景気の下振れによる影響が懸念される。

県民1人当たり

項目	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
税収	129,240	101,346	107,456	109,903	108,669	110,719	117,957	121,967
全国順位	17	25	21	19	20	25		
法人税収	50,681	26,137	35,171	37,990	37,604	38,911	44,735	46,651
全国順位	7	22	8	5	6	13		

(単位:円)

実質県税: 県税+地方法人特別譲与税(H21~)

H20~26年度: 一般会計決算

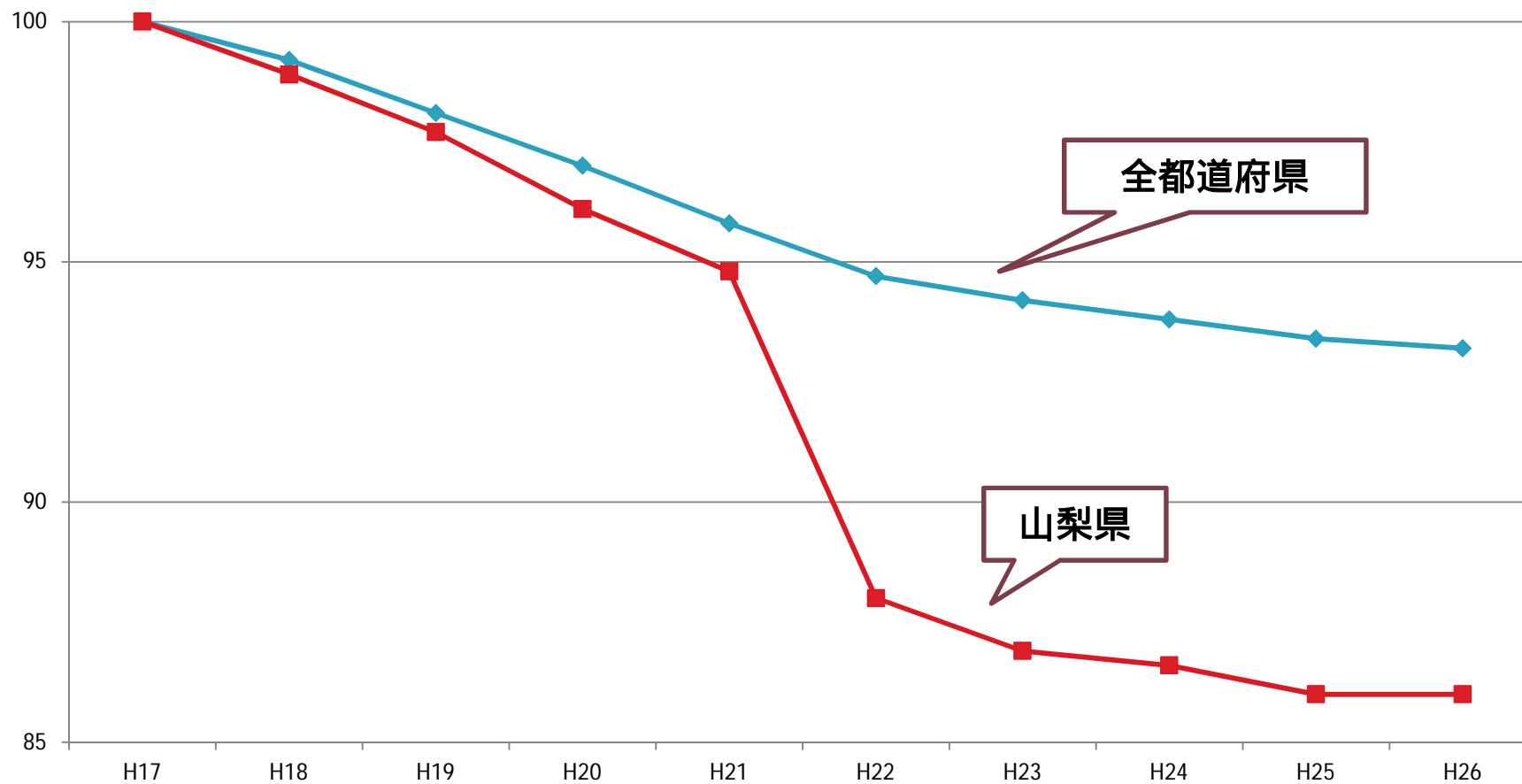
H27年度: 当初予算

16ページ県税の歳入決算額との差は、地方消費税の清算と地方法人特別譲与税の扱いの違いによる

職員の削減状況

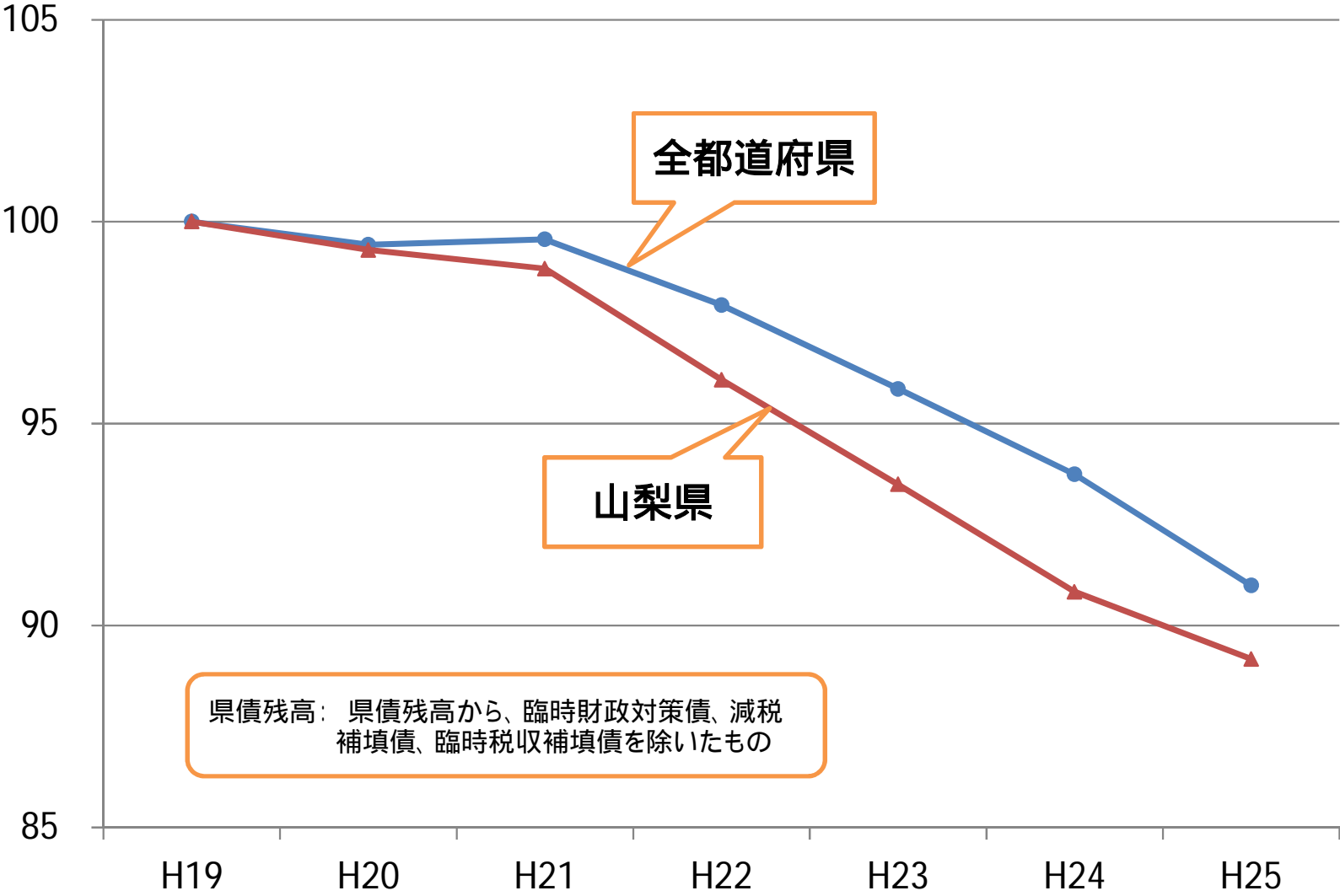
H17年度から第二次行財政改革プログラム、定員適正化計画に基づき職員数を計画的に削減

職員数の推移 (H17を100とした指数)



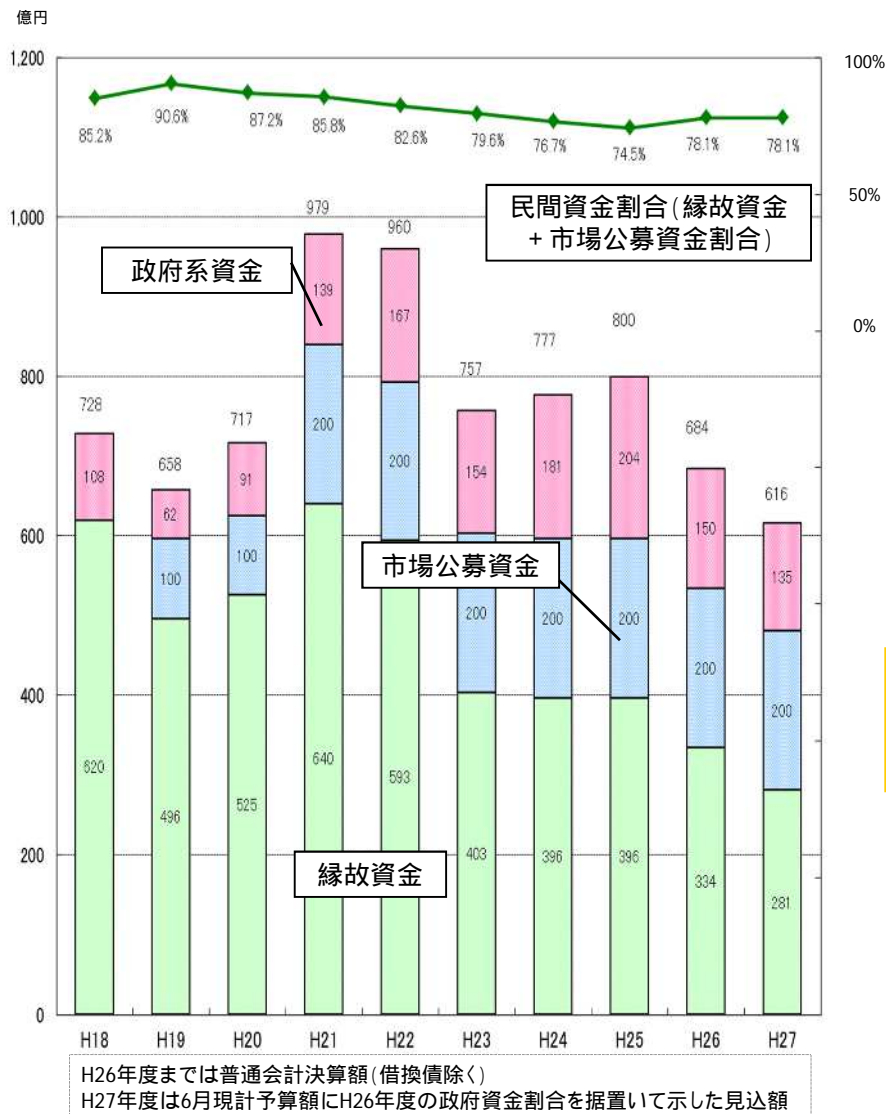
県債残高の推移

県債残高の推移 (H19を100とした指数)



資金調達

資金別借入額・構成割合の推移



財投改革に伴い、政府系資金から民間資金へ調達先がシフト
市場から長期にわたり安定的な資金を調達し、財源を確保する必要
H19年度から市場公募債を導入



H27年度は200億円の市場公募債を発行

出資法人改革

公共事業などの公的資本形成の財源となっている、通常の県債残高については、ある程度コントロールが可能であり、償還財源についても、交付税措置のある有利な起債を活用することで、県負担を最小限にする工夫をしている。

一方、出資法人への債務保証等については、県債等残高全体に占めるウェイトは大きくないが、債務保証が実際の債務になった場合、大きなリスク要因になると考えられる。

Ex) 住宅供給公社に対する県の損失補償残高 102億円

仮に102億円を県が一括返済する必要がある場合、県財政に大きな影響が生じる。

更なる経営合理化に努めるとともに、債務解消への県の財政負担を平準化しながら、可能な限り債務を圧縮していくことが必要。

出資法人改革

県出資法人数 37法人

うち、県が損失補償等を行っている法人は以下の7法人

・大きな含み損
・多額の借入金
・事業環境の変化

・産業廃棄物最終処分場の閉鎖

・債務超過
・多額の借入金
・事業環境の変化

(単位:百万円)

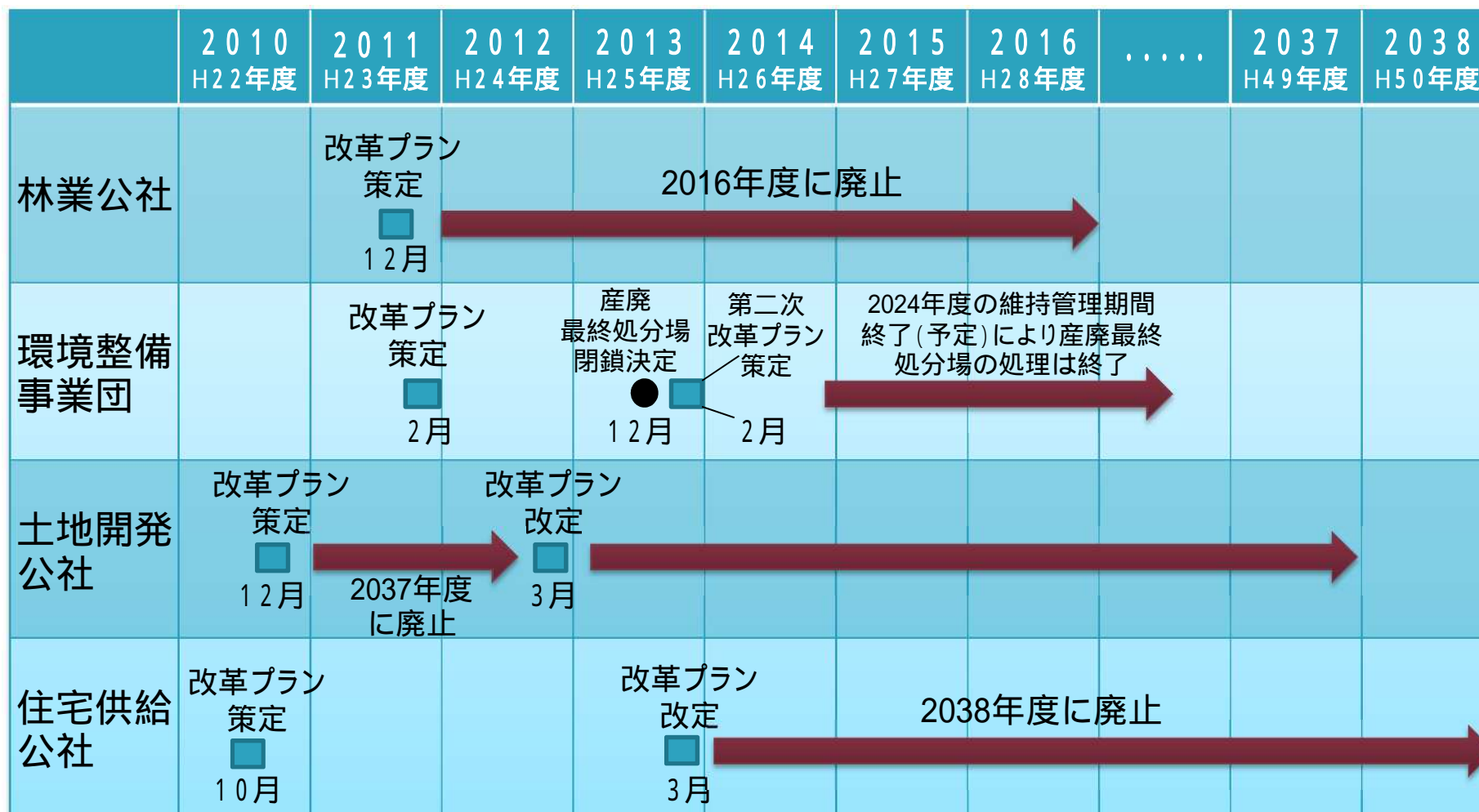
H26年度決算		林業公社	環境整備事業団	農業振興公社	土地開発公社	住宅供給公社	道路公社	やまなし産業支援機構
県出資金(出資割合%)		1(100)	10(33)	452(69)	20(100)	10(100)	613(50)	174(40)
経常損益		279	5	5	263	433	1	0
純資産又は正味財産		640	215	50	7,002	3,113	1,529	3,163
借入金残高		22,078	563	187	8,576	10,285	1,298	7,524
県による 財政支援の 状況	補助金	564	1,643	69	246	240	0	121
	債務保証に係る 残高	-	-	-	8,509	-	329	-
	損失補償に係る 残高	6,868	563	162	-	10,163	-	1,979

色つきの法人が国のガイドラインに沿って改革プランを策定し、抜本的改革を行う主要5法人

出資法人改革

出資法人改革を集中的に実施

2010年度以降、県の財政負担の大きい団体について、事業の廃止や債務の圧縮策を相次いで決定。



出資法人改革

林業公社

平成23年12月の改革プランに基づき、土地所有者との分収契約における分収割合の見直しにより、県負担を167億円に縮減。

21億円の収支改善

また、債務処理については、第三セクター改革推進債の活用を予定。

環境整備事業団

山梨県環境整備センター(明野産業廃棄物最終処分場)を閉鎖。

平成26年2月の改革プラン策定時における赤字額 55億円

55億円のうち、44億円は、平成26年度までに解消済み。

出資法人改革

土地開発公社

平成17年度決算において、簿価と実勢価格との差額111億円について特別損失を計上。

平成20年度に、土地開発基金と県の無利子貸し付けを活用した損失処理を開始。

平成22年度には、改革プランを策定し、新規事業は行わず、公社の損失処理を平成49年度までとし、実質的な廃止を決定。

住宅供給公社

平成26年3月に改革プランを改定し、県の財政支援を強化。(県の無利子貸し付け増額による有利子負債の圧縮等)

20億円の収支改善

平成50年度を目途とした公社の廃止を決定。

平成26～50年度までの県負担額を56億円→36億円に縮減。

お問い合わせ先

山梨県総務部財政課 資金管理担当

TEL 055 - 223 - 1384

FAX 055 - 223 - 1385

mail zaisei@pref.yamanashi.lg.jp

web <http://www.pref.yamanashi.jp/>

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1 - 6 - 1

週末は
山梨に
います。

